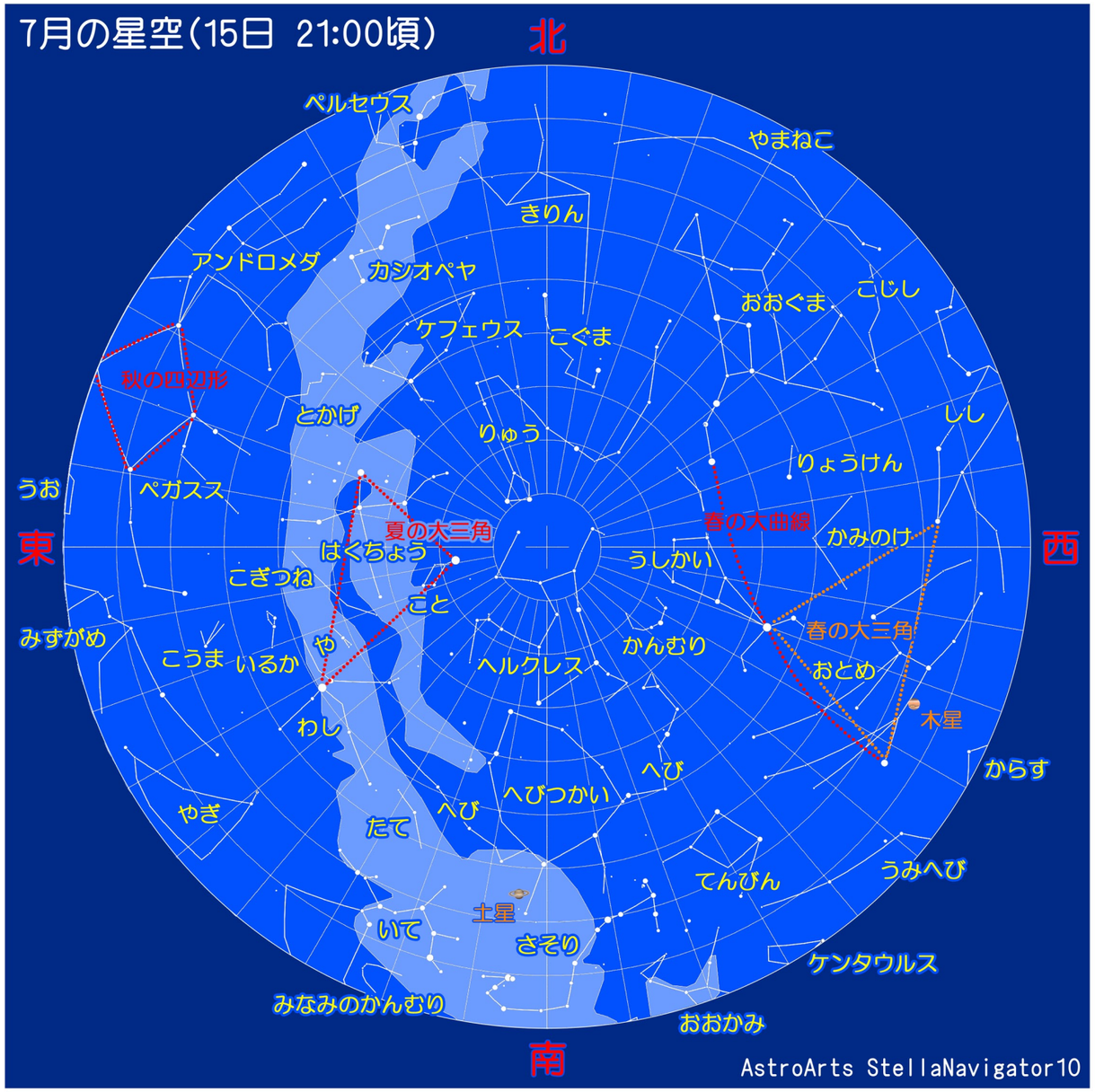
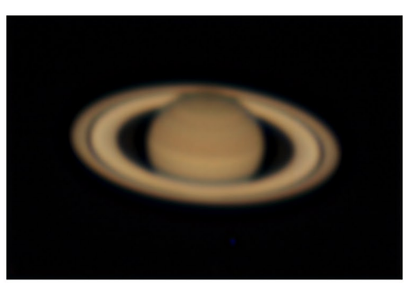
銀河の森天文台
2017年7月のみどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆土星

今年の夏の主役は、間違いなく土星でしょう。最大の特徴であるこの見事な環は、99.9%が水の氷で出来ています。環の明るくはっきりと見える部分（メインリング）は、直径が約27万3500kmもあるのに対し、厚さは10m～1kmしかありません。また、土星には60個以上の衛星があり、その中でもエンケラドスは生命が存在する可能性がある事で注目されています。 地球からの距離：約14億3000万km



土星

月

		出	没
1日	◐上弦	11:32	23:44
9日	○満月	18:54	03:54
17日	◑下弦	23:27	12:05
23日	●新月	03:36	18:42
31日	◐上弦	12:21	23:13

天文台から月を見ることができるのは1～9日頃と28～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。 距離：約38万km

木星

太陽系最大の惑星で、直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

大赤斑と呼ばれる赤い楕円形の模様や、ガリレオ衛星と呼ばれる明るい4個の衛星が特徴的です。

太陽からの距離：約7億7800万km

M13（球状星団）

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M57（惑星状星雲）

リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。

これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

M27（惑星状星雲）

鉄アレイのような形に見えることから、アレイ状星雲と呼ばれる惑星状星雲です。

明るく大きな惑星状星雲で、双眼鏡でも見つけることができます。

距離：約820光年

M11（散開星団）

いて座とわし座の間の天の川の濃くなっている部分たて座にある密集度の高い散開星団です。

望遠鏡では、視野いっぱいに星が散らばる様子を観察することができます。

距離：約5610光年

アルビレオ（重星）

はくちょう座のくちばしに位置し、黄色と青色の色の対比がとても美しい二重星です。

宮沢賢治はこの星を、トパーズとサファイヤと表現したほどです。

距離：約434光年

ちょっとマニア

・水星

肉眼で見る機会の少ない水星ですが、7月30日に東方最大離角を迎え、肉眼で水星を見るチャンスとなります。7月30日前後の日没後の低空に注目してください。

太陽からの距離：約5790億km

その他おすすめ

- M12（球状星団）
- M20（散光星雲）
- M22（球状星団）
- SN2017eaw（超新星）
- NGC6826（惑星状星雲）
- ダブルダブルスター（重星）

7・8月の銀河の森天文台カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

□ 休館日